

第2回小平市第三次長期総合計画・前期基本計画検討懇談会 要旨

開催日時	平成17年11月16日(水)14時00分から 16時20分まで
開催場所	小平市役所3階301会議室
出席者	佐野会長、服部副会長、浅見委員、宇都宮委員、小川委員、加藤委員、剣持委員、小林委員、佐藤委員、篠崎委員、鈴木委員、立花委員、鳥井委員、森杉委員 14名) [海上委員、神石委員、谷委員 欠席3名] (事務局) 昼間理事、水口参事、橘田副参事(株)インテージ・税所、大坂) (傍聴者 3名)
会議次第	1. 開会 2. 検討懇談会運営事項確認について 3. 小平市第三次長期総合計画・前期基本計画(素案)について 4. 小平市の地域特性地図について 5. その他 6. 閉会
配付資料	(1)「小平市第三次長期総合計画・前期基本計画(素案)」(資料1) (2) 小平市の地域特性地図 (資料2) (3)「小平市第三次長期総合計画基本構想」市報特集号(10月20日号) こだいら市議会だより(10月30日号) (資料3) (4)「第1回小平市第三次長期総合計画・前期基本計画」会議録[未定稿] (資料4)
委員	「地域特性地図」は全体を見る上で参考になるので活用させてもらう。地域特性地図のp.3「緑・水」の分野を見ると、小川町二丁目あたりの緑が少ないのがよくわかる。
事務局	「前期基本計画(素案)」資料1について予定される事業で、様々な部署が相互に関わってひとつの事業として成り立つものもあると思う。たとえば公園の整備などを考えると次世代育成について施策を実施する部署と、水環境などを事業化していく部署間でつながりがあってひとつの事業が実施されることもあると思うがいかがか。
委員	「前期基本計画(素案)」では、予定される事業に「再掲」と表示して同様の施策が他にあることを示している。また、そのほかに捉える視点は違うが、事業については重なったり共同で行ったりする部分も出てくると思う。その場合は、各部署間で連携・協力していくことになる。
事務局	そうすると事業の実施段階では部署間での連携はあると理解していいのか。 3年間の実施計画を策定し実施する中で、そういった部分の調整は行われていくことになる。

委員	<p>この「前期基本計画（素案）」を見て、予定される事業に関して事業によって濃淡があるように感じるが、事業の性格等によって仕方のないものなのか。</p> <p>「前期基本計画（素案）」に掲載されている事業については、ある程度予算の裏づけがあって、はじめて事業化されると思うが、どう考えるのか。</p> <p>P.18「歴史」の予定される事業に記述されている「平櫛田中館」関連の項目について、平櫛田中氏は亡くなってからそうたっていない方なので、P.15「新しい文化の創造・発信」に位置づけるべきではないのか。</p> <p>P.9「防災」に関連して、市内の陸上自衛隊小平駐屯地の役割について、何らかの記述はできないのか。</p>
事務局	<p>予定される事業については、長期総合計画を担当する部署である「計画調整」や「政策課」と、事業を実施していくべき「各事業課」との調整や予算面での裏づけについては精査している。予定される事業において「～の検討」という項目もあるが、そうした項目については、事業として不確定な要素も含んでいることから、予算面での手当ても、未確定な面も含んでいることをご理解願いたい。</p> <p>財政面で厳しいことには変わらないので、今後も「行財政改革」の中で財源を捻出していくことになる。</p> <p>「前期基本計画」に掲げたさまざまな事業について、この10年間で位置づけていくために、財政推計の中であてはめたり、厳しい財源の中でどう事業計画を立てるのか、今の時点では財源捻出の限界もあることから、更なる検討が必要である。</p> <p>自衛隊の役割については、「前期基本計画」とは別に市で策定した「防災計画」という個別計画の中で役割や位置づけが明示されているが、駐屯地自体は他の役割をもつ施設なので、「前期基本計画」には記述されていない。</p>
副会長	<p>「前期基本計画」に記述されている予定される事業について、どういった部署がどういった基準で選んでいるのか知りたい。また「第1回検討懇談会」で示された「前期基本計画（素案）」と今回の「検討懇談会」で示された「前期基本計画（素案）」でいくつかの加筆や修正が見受けられる。その中で</p> <p>学校に関する記述が後退したように感じるがいかがか。P.48「家庭・地域の教育」の今後の課題（1）について、以前「前期基本計画（素案）」には単に学校だけでなくといった表現が見受けられたが、今回の「前期基本計画（素案）」においては、その部分が削除されている。どうして削除してしまったのか。学校と家庭の連携をもっと強化してほしいと思うがいかがか。</p>
事務局	<p>予定される事業については、都市経営部の「政策課」と長期総合計画を担</p>

	<p>当する「計画調整」が、事業を実施していく「各事業課」の意見を加味し、最終的には理事者の方針を受けて決定している。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>P.48「家庭・地域の教育」の今後の課題（１）についての記述であるが、教育の問題は、何もかも学校に頼る傾向にあるので、もう少し家庭や地域での役割について考えてほしいといった主旨で修正した。その分、P.45「小・中学校」には、むしろ以前より踏み込んだ形で記述が加えられている。</p> <p>副会長が言った、P.45「小・中学校」とP.48「家庭・地域の教育」との関連性はこういった部分なのか。</p> <p>P.45「小・中学校」では、主に学校教育を中心に記述がされ、P.48「家庭・地域の教育」では、学校以外のマナーやモラルについて誰がどう教えていくのかという認識で記述がされている。</p>
<p>委員</p>	<p>「前期基本計画」を実現させるための手法のようなものはあるのか。</p> <p>市民の意識に期待するのであれば、現状と課題を明示していくことや、計画を実現させるための方法論を「総論」として位置づけていく必要があると思う。</p> <p>「施設事業」や「非施設事業」について、構想段階や検討段階の時点で優先順位をつけたらいいと思うがいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>P.15「新しい文化の創造・発信」の「動向（現状）と課題」（２）に記述されている、音楽コンクールとは何をさすのか。世界的にアピールできるものとは何か。音楽の分野だけが突出している気がする。</p> <p>新しい「基本構想」に みんなが元気になる とあったが、この「前期基本計画」に目を通してみて 元気 とか 明るさや夢 といったものが感じられない。</p>
<p>委員</p>	<p>行政は具体的に何かしようとする、すぐに民活や市民参加、NPO など個々の対応に任せて、それを行政がまとめあげるといった視点が少ない。</p> <p>市内には、せっかく小平市には7つも駅があるのだから、そういったものを特徴として出せないのか。もっと既成概念を脱して夢を語れないのか。自分たちにとって何ができるのか、この「前期基本計画」からは見えてこない。</p> <p>市は様々な関係団体が事業を提案する前に、事業化をして進めていってしまい、これでは、なかなかアイデアも生まれてこない。</p>
<p>委員</p>	<p>新しい「基本構想」に民活力・地域力・行政力という言葉があったが、これからもっと地域力を高めたり、行政力をステップアップしてほしい。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>先を見据えた景気動向や、税収の増減予測は資料として持っているのか。自主事業で歳入を増やしていく方法はあるのか。</p> <p>当然、予測資料はつくってある。それを基に事業計画を立てている。税収</p>

委員	<p>のアップや収納率の向上を図っていきたい。</p> <p>他の委員さん方も言っていたが、自分自身ももう少し地域や若者に目を向けていかないといけない気がした。</p>
委員	<p>学校は勉強を教える場所だとすると、もっと地域や家庭が子どもの教育についてやっていくことが必要だと感じた。地域住民との協働についても、単にNPOのような関係団体だけが活動して、個々の住民にまで活動の輪が広がっていかないのではないかと。</p>
委員	<p>以前「基本構想」の段階で「基本計画」がより具体的なものとしてでき上がってくることを期待したが、計画というものは、具体化すればするほど、画一的なものになってしまうものだということがわかった。</p> <p>「施設事業」については、どちらかという今後やっていかないといけないものが多いと感じるので、「非施設事業」のほうが内容的に、魅力あるものになっていく可能性があるし、組み合わせでいろいろな展開ができると感じた。</p>
委員	<p>市民参加や地域の資源を有効に活用できるのは、行政の力なので、わかりやすい情報を提供し、その上で他の委員さんが言ったように、事業の組み合わせを行ったり、従来の概念にとらわれず、事業同士をプロジェクトとして纏め上げたりする新たな仕組みをつくってほしい。</p>
委員	<p>夢を持つ という意味で、先ほどの委員さんの意見に賛成する。行政がすべて事業の 枠 をつくってしまうのはどうかと思う。</p> <p>P.37「健康づくり」基本方針(2)に記述のある 地域ネットワークづくり について、「非施設事業」に関連する事業を入れてほしい。</p> <p>P.39「高齢者福祉」(5)及び(6)に関して、今後は 家庭 という概念を変えていく必要がある。家族だけが家庭なのではなく、地域のグループホームなども含めた形で考えていく必要があるということだ。</p> <p>P.45「小・中学校」予定される事業、施設事業(4)「学校校庭の芝生化の検討・施行」とあるが、どういう位置づけで事業として記述されているのか。</p> <p>P.58「快適な都市」今後の課題(3)～より広範な視野から住宅施策への対応～ とあるが、文章上のつながりから考えると 視野からの～ とすべきではないか。</p>
事務局	<p>「健康づくり」「高齢者福祉」については、今後も検討していく。</p> <p>P.45「小・中学校」予定される事業、施設事業(4)「学校校庭の芝生化の検討・施行」については、教育環境での課題もあるので、試行ということばで記述している。</p>
委員	<p>予定される事業において「～の検討」という項目があるが、市民からする</p>

<p>事務局</p>	<p>と、実施されるか実施されないか現段階でわからないということでは、いかなものか。</p> <p>P.82「公務」予定される事業（５）「団塊の世代の退職に伴う公務サービスの見直し」とあるが、実際に 団塊の世代 の退職はどのくらいあるのか。退職金などが財政に与える影響はどの程度なのか。</p> <p>P.64「交通網」予定される事業（２）「コミュニティバス運行経費への助成」とあるが、コミュニティバスに関わる経費はどう見ているのか。</p> <p>指定管理者制度はどこまで広げることになるのか。</p> <p>予定される事業において「～の検討」という項目については、「前期基本計画」の 10 年間の中で、実現に向けて検討し、様々な調整が整えば実施していきたい。</p> <p>P.82「公務」予定される事業（５）「団塊の世代の退職に伴う公務サービスの見直し」については、財政に与える影響は出ないように考えていく。</p> <p>P.64「交通網」予定される事業（２）「コミュニティバス運行経費への助成」に関する運行経費等については、平成 16 年 1 月から試行運転を行っていて、試行運転とあわせ、市内における総合的な交通体系のあり方について話し合うための「総合的な交通体系のあり方懇談会」を開催している。そうした中から考え方が今後、提示されると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>P.45「小・中学校」予定される事業、施設事業（４）「学校校庭の芝生化の検討・施行」については、現在、第 13 小学校でも、芝生化に反対する署名などもあり、事業化については理解しがたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>P.45「小・中学校」予定される事業、施設事業（４）「学校校庭の芝生化の検討・施行」については、緑化という意味もあるが、教育上の様々な課題もあることから、検討・試行という内容で記述してある。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

（文責：事務局）